

令和 8 年度

福井県母子寡婦福祉指導者研究集会が開催されました！

とき:6月7日(日) ばしょ:小浜市咲楽館



小角さんの司会で進行了しました。



岡崎会長による挨拶です。



藤原課長の来賓挨拶です。



松本主事による行政説明が行われました。



分科会 母子・父子部「支援を学ぼう」



分科会 若年寡婦部

「毎日を楽しむために必要なもの」



分科会 寡婦部



全体会



### 【母子・父子部】

- ・制度は毎年度変わる。新しくできた制度は活用してほしい。要望が実際の支援制度につながるので意見を伝えることが大事。
- ・学習支援については高校生も対象にしてほしい。習い事支援がない市もある。自分の市町の状況を調べる。学習支援では保護者による送迎が難しい場合もある。ふく育タクシーの利用も考えられるが子どもを一人で乗せるのも不安である。
- ・児童扶養手当について、兄弟の収入により急に児童扶養手当が切られることがある。働いた方がよいのか、減らした方がよいのか迷うことがある。所得制限限度額を上げてほしい。
- ・高等職業訓練促進給付金を活用して資格を取得したいと思うが、子どもの送迎等があり難しい面がある。

### 【若年寡婦部】

- ・ランチ　　・おしゃべりや長電話（大谷選手、阪神、失敗談）
- ・健康（体操、ストレッチ、空手、ウォーキング・民謡）　・スイーツづくり
- ・ケーキづくり　・孫の世話　・野菜作り　・仕事（パート）　・編み物　・花の世話
- ・ボランティア　・旅行　・習い事

### 【寡婦部】

- ・免許の返納のことがあるので、外出の手段を手厚くしてほしい。
- ・デマンドタクシーを利用しているが、数日前に予約が必要。
- ・施設利用は無料にしてほしい。　・寡婦にも支援を。
- ・健康、栄養、社会参加が一番　・高齢者の手伝い　・ウォーキング
- ・障がい者施設の手伝い　・健康づくり（ソフトバレー、麻雀、ポッチャ）　・食事会



大野木母子部長による決議文朗読



岩崎副会長による閉会のことば